

法学博士・桐蔭横浜法科大学院教授「医療と法」

弁護士 遠藤直哉

## 医療への刑事介入の防止

- － ガイドラインの活用
- － 情報の開示・共有・集約

フェアネス法律事務所

東京都港区西新橋1-6-13柏屋ビル8階

TEL:03-3500-5330(代) FAX:03-3500-5331

Mail: [endo@fair-law.jp](mailto:endo@fair-law.jp) <http://fair-law.jp>

# 自己紹介

- ・ 麻布高校・東京大学法学部卒
- ・ ワシントン大学ロースクール大学院修士
- ・ 第2東京弁護士会所属(平成8年度副会長)
- ・ (財)日本医療機能評価機構総合評価部会部員
- ・ 大崎病院東京ハートセンター治験審査委員会委員
- ・ (財)日米医学医療交流財団常務理事
- ・ 妊娠出産の自己決定権を支える会(FROM)議長
- ・ (社)日本医業経営コンサルタント協会顧問

## 著書紹介

- ・「取締分割責任論」(信山社)
- ・「ロースクール教育論」(信山社)
- ・「危機にある生殖医療への提言」(近代文芸社)
- ・「始まった着床前診断」共著:大谷徹郎医師(はる書房)
- ・「労災職業病の企業責任ーアスベスト」(総合労働研究所)

# 規制改革におけるソフトローの重要性

1. 事前規制型から事後救済型・事後制裁型へ
2. 事後救済(民事賠償制度)の活性化
3. 刑事制裁及び行政制裁の限界
4. 予防の重要性(第1目標)
5. 予防(救済・制裁)のためのハードロー
6. 予防(救済・制裁)のためのソフトロー
7. 情報の開示・共有・集約

# 東京女子医大事件

## ◆Se講師

カルテ改ざん  
証拠隠滅罪

## ◆Sa助手

無罪(業務上過失致死罪)  
人工心肺フィルターの構造的欠陥  
(内部報告書→Sa助手の責任とした)

# 手術の経過① — 青戸病院事件

本手術開始

医師H(主), M1, M2 / 麻酔医O, K(研修医)

膀胱・前立腺の切断開始

M1医師からの開腹提案(1回目)  
あるも続行

Hb 10.0g / dl  
この頃O医師から  
Map開始指示  
看護師から輸血ストック  
がなくなる旨の声かけ

9:41

14:25

16:00頃

17:30

## 手術の経過②

M1医師からの開腹提案(2回目)  
あるも続行

Map4単位の輸血開始  
(20:25に終了)

前立腺摘出完了

M1医師からの開腹提案  
(3回目)あるも続行

18:00頃

18:50

19:15

20:00頃

## 手術の経過③

○医師からの強い口調による  
開腹の提案

Hb7.6g / dl

開腹に移行→この頃から21:15にかけ、  
ガーゼ出血量合計790gを記録。吸収出血  
量は6,000ml(18:45からさらに3,000ml増加)

輸血部から日赤血液セ  
ンターへMAP6単位と  
FFP2単位発注

20:30

20:45

21:00頃

21:30

## 手術の経過④

血圧95 / 55 mmHg, Hb3.6g / dl

手術終了、日赤血液センターから  
MAP6単位とFFP2単位到着

心臓マッサージ等CPR開始し23:29まで施行  
CPR後半から輸血(MAP6単位)開始

21:45

22:30

23:17



# 手術の経過⑤

M1医師より輸血部にMAP10単位、  
FFP20単位の追加請求

Hb 9.2 g / dl 血圧140 / 80 mmHg

病棟へ: 1ヶ月間昏睡状態が続いた後に死亡  
(内部報告書・麻酔医の責任とした)

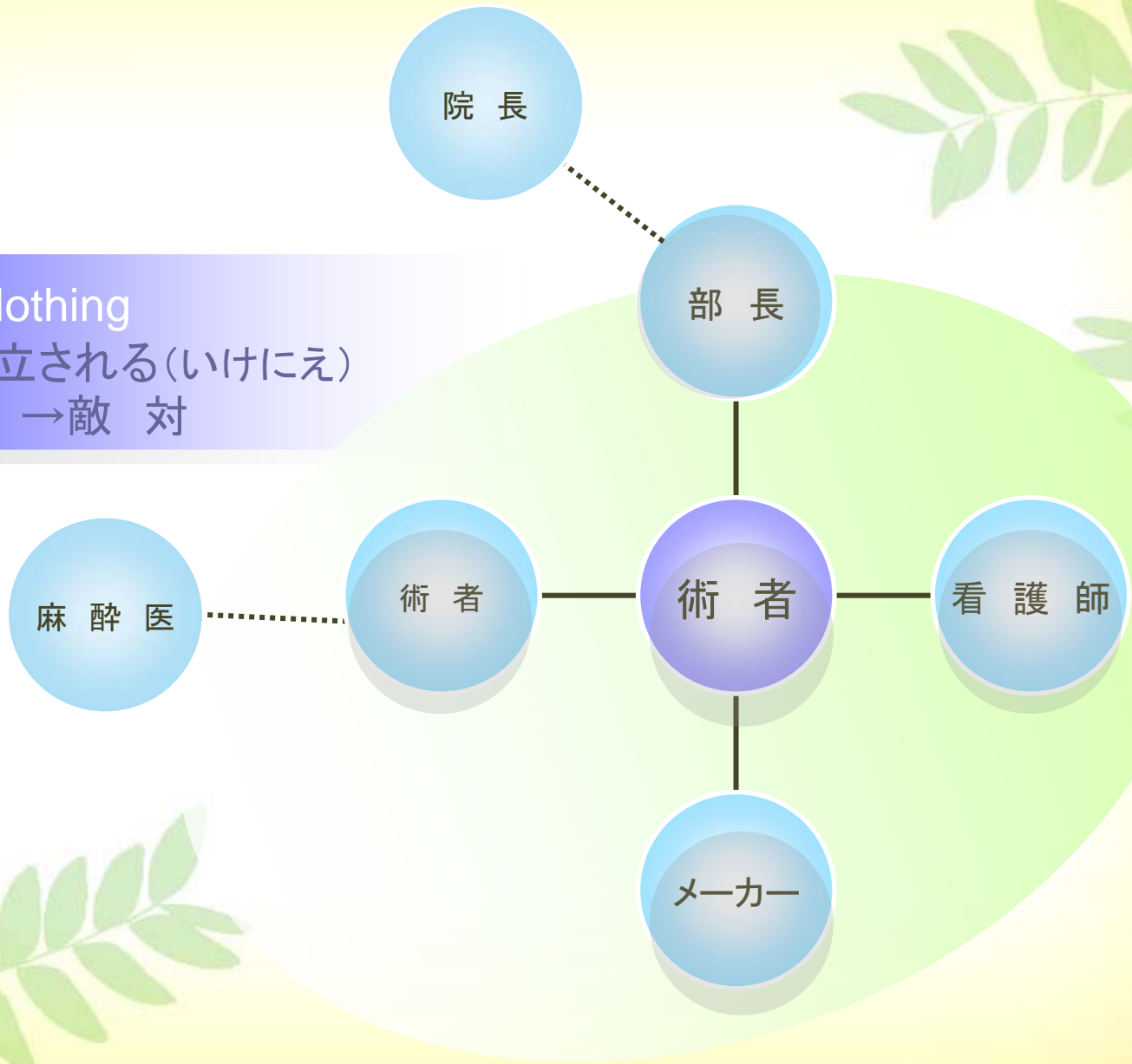
23:30

0:30

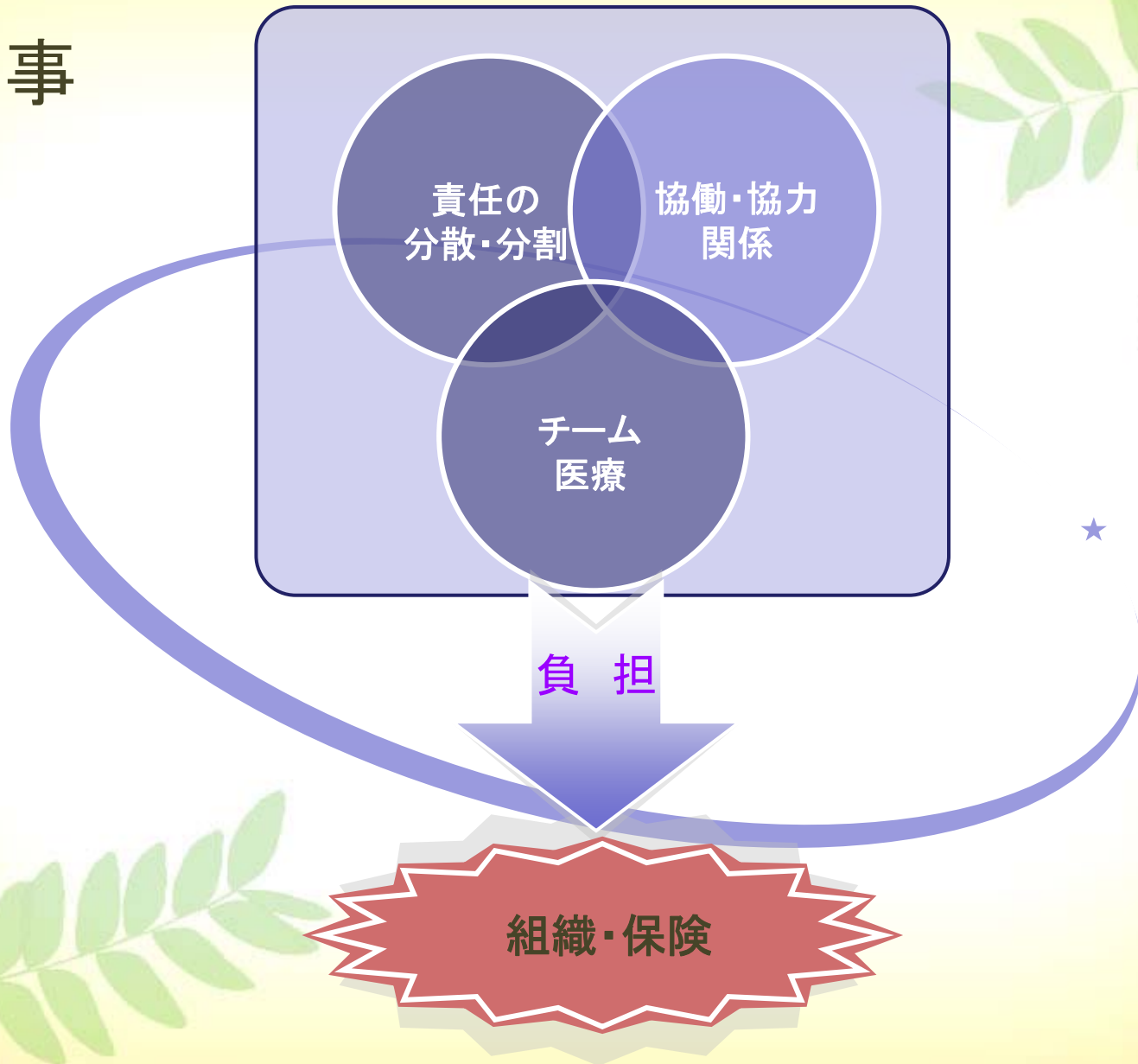
2:05

# 刑事

All or Nothing  
孤立される(いけにえ)  
→敵対



# 民事



# 広尾病院事件

主治医  
院長（共謀）

21条違反  
死亡診断書の虚偽記載罪

都職員

無罪（21条違反）

看護師 2名

誤棄投与  
業務上過失致死罪

## 33条の2 ・ 50万円以下の罰金

	医師法21条	外科学会・ 国立病院部 ガイドラインなど	広尾病院 事件	法律家の 有力な意見
対 象	死 体 死産児	死 亡 重大な障害	死 亡	死体・死産児
主 体	検案した 医師	医療に従事し た医師(施設長)	死体を検分 した医師	死体を検分 した医師
状 況	異 常 (法医学会→過 失・過誤の有無を 問わない)	重大な医療過 誤の強い疑い・ 何らかの医療過 誤が明らか	診療中の持病 以外の原因で 死亡した疑いの ある異常	自分の行為を 含まない (自己負罪拒否特権) 第三者の犯罪 (同僚の医療過誤?)
義 務	24時間以内所 轄警察署へ 届け出	速やかに所轄 警察署へ連絡	届出	届出

## 統合失調症治療ガイドライン（代表・佐藤光源）

海外の全ての治療ガイドラインがそうであるように、本書も今日の標準的な治療方針を推奨し、解説したものとなっている。

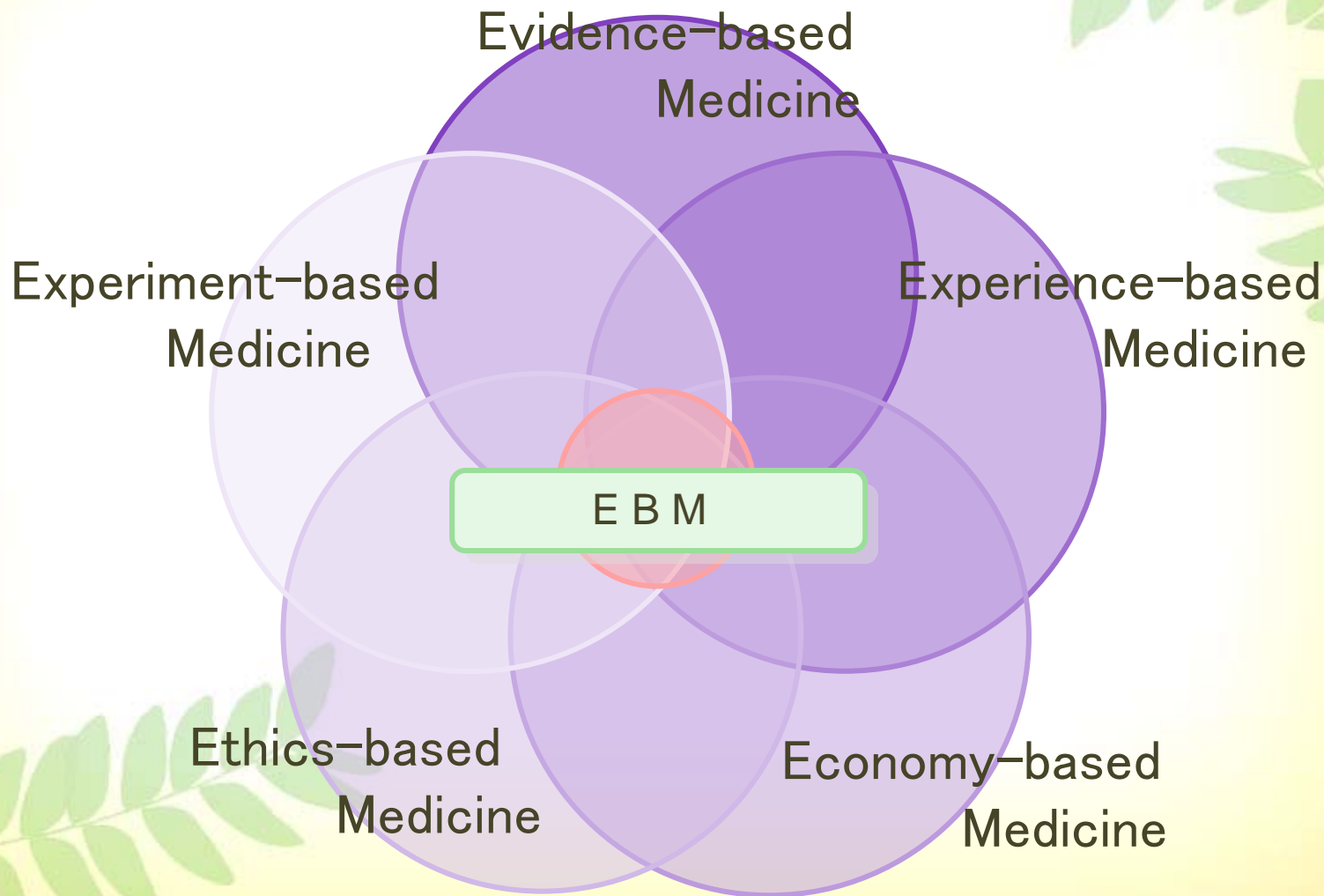
それはあくまでも診療の参考にするための推奨であって、治療の実践は精神科医である担当医の裁量に委ねられている。

したがって、本書に記載された推奨をもって訴訟などの法的判断や保険をめぐる紛争解決の基準にすることはできない。

## 脳卒中合同ガイドライン委員会 委員長 篠原 幸人

- 治療ガイドラインは生き物
- 常に改訂をしなければならない性質を持ったもの
- エビデンスに基づく治療(EBM)の真の意味
- 患者さんの背景や特性
- 担当医師自身の技量(経験や手術的手腕、あるいは広くその施設における画像その他の検査設備など)も含めた考慮
- このガイドラインは個々の臨床家の裁量権を規制するものではない
- この完成と同時に次のステップはもう始まっている

# 総合的な略(意味)をもつ”EBM” (篠原幸人)





# Foreword

fertility and sterility

2004 American Society for Reproductive Medicine

These guidelines have been developed to assist physicians with clinical decisions regarding the care of their patients. They are not intended to be a protocol to be applied in all situations and can not substitute for the individual judgment of the treating physician based on their knowledge of their patients and specific circumstances. The recommendations in these guidelines may not be the most appropriate for all patients. Medical science and **ethics** are constantly changing, and clinicians should not rely solely on these guidelines.

# ガイドラインの活用

絶えざる進展



可変性  
柔軟性  
応答性  
多様性

自治・自律  
参加・研修  
情報の共有・コミュニケーション  
協働・協力

# ハードロー (法令)

	予 防	救 済	制 裁
民 事	無効確認 差止請求	賠償請求	
行 政	勸 告 (注意処分) 是正処分	救済勧告	営業停止 許可等の 取り消し
刑 事		(被害発生！)	刑 罰

(情報提供)

# ソフトウェア（組織のルール）

	拘束力	損害賠償責任	制裁
(厚労省) 指針 ガイドライン	強い	メーカー 医師	(刑事罰) 行政処分
		厚労省	
医師会規則 日産婦人会告 (遵守義務)	適切→有効	医師	除名
	不適切→無効	団体(医師)	除名無効
診療ガイドライン	弱い	医師	
		基準になる	刑事・行政処分 除名
適切			
不適切		基準にならない	除名無効

(注意処分:情報提供)

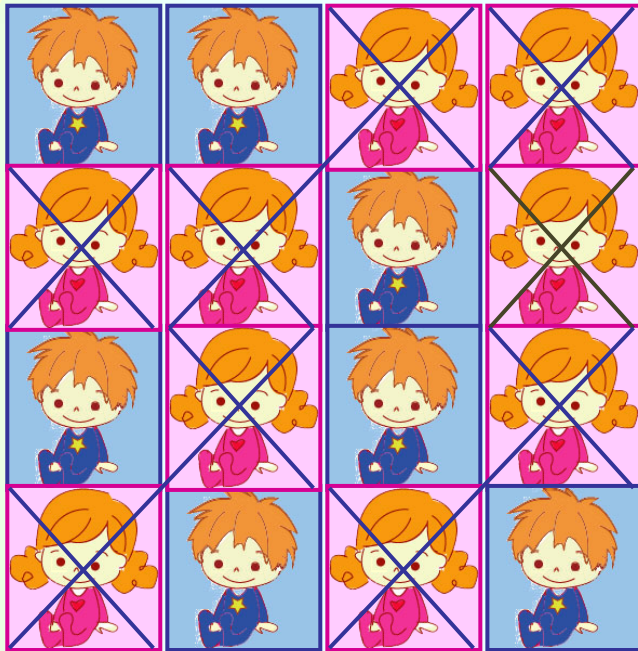
# 刑事介入の断固たる防止

1. 情報の開示・共有・集約
2. 多数の責任者の立場からの説明、謝罪
3. 示談の先行、開始

刑事の欠陥	医療における重要な点
いけにえ	システム
個人の責任	多数の責任・組織の責任
孤立・亀裂	チーム医療・ピアレビュー
密行性	情報の開示・共有・集約
非専門性	高い専門性
新たな被害	信頼・向上・進歩

# ジェンダーバイアスとジェンダーバラエティ

ジェンダーバイアス



ジェンダーバラエティ



1 : 1

ジェンダーアンバランス

ジェンダーバランス